

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	読谷村		代表者名	石嶺 傳實	
担当者部署	ゆたさむら推進部		連絡先電話番号	098-982-9203	
担当者役職	係長	担当者氏名	山城 拓也	連絡先E-mail	
住所	904-0392 沖縄県読谷村字座喜味2901				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	データ利活用を進めるにあたり、BIツールを使ったデータの利活用方法など、知識が豊富であり、多くの知見を得ることができた。
アドバイザーへの要望事項	今後、本村のDX推進の方針を定め、実際にデータ利活用の段階まで来た際にはアドバイスや研修などをお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月16日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	17時30分	60
			活動時間（分）	390	
3-2. 派遣場所	会場名	読谷村役場	最寄駅	なし	
	所在地	沖縄県中頭郡読谷村字座喜味2901	最寄駅からの交通手段	レンタカー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本村ではDX推進の方針が無く、方針の策定が急務である。DXを進める上では、データの利活用は必要不可欠であり、方針の中でデータの利活用についても定める必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	支援を受けることにより、本村にとってデータ利活用のあるべき姿を描く。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・BIツール等を使用した実際のデータ利活用方法について、実演も交えながら教授頂いた。 ・オープンデータの利活用の促進についてもアドバイスを頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	データの利活用について具体的なイメージを掴むことができた。今後方針に落とし込み、本村のデータ利活用の進め方を策定していきたい。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	方針へのデータ利活用に関する記述の確定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援を受けたのが当課の職員2名であり、少数であることからアンケートを行わなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	本村のDX推進の方針を策定した上で、データ利活用を推進する環境が整っている。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

